

# お盆のあんころ餅

昔、城端地域のお地藏さんの写真をとりにも回った事がある。そこでちよつと気付いたのだがよく首が折れ補修されている。お地藏さんが見受けられた。近くの古老の話によると、昔お地藏さんに願がけをして城端へバクチに行き負けて帰ると腹いせにそのお地藏さんの首を取ったと言う。

城端別院の前では、バクチがよく行われていた様で我家の先祖達もそこであるころを売っていた。

特に四代目萬屋甚五郎は天保三年七才で

あんころデビューし山門下へ行く。「がきはあつちで売れ」と台所門へ行かされた。

寛政の改革では、バクチの禁止令も出されたが八月十五日だけ許され続けられてあんころも売っていた。しかし明治の頃にはバクチは陰をひそめ、あんころを食べる習慣だけ残った。

この習慣は城端町だけに残るもので全国的にも珍しい。八代日記

菓子蔵処 田村萬盛堂

富山県南砺市城端一七五  
☎(〇七六三)六二一〇二二四

※生ものに付き、本日中にお召し上がりください。